

平成15年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立中央農業試験場

水稻の部

稲作科 (岩見沢市)

気象概況

9月下旬：平均気温は平年より0.5 低かった。降水量は平年の134%、日照時間は平年比117%であった。

10月上旬：平均気温は平年より1.7 低かった。降水量は平年の65%、日照時間は平年比137%であった。

10月中旬：平均気温は平年より0.9 低かった。降水量は平年の91%、日照時間は平年比86%であった。

以上、1ヶ月を通じ気温は平年より1.0 低く、降水量は平年並で、日照時間は平年比114%とやや多かった。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(°C)	18.5	19.2	0.7	16.3	17.2	0.9	14.0	15.2	1.2	16.3	17.2	0.9
最低気温(°C)	9.9	10.3	0.4	6.0	8.4	2.4	5.5	6.0	0.5	7.1	8.2	1.1
平均気温(°C)	14.2	14.7	0.5	11.1	12.8	1.7	9.7	10.6	0.9	11.7	12.7	1.0
降水量(mm)	68.5	51.2	17.3	28.0	42.9	14.9	30.5	33.7	3.2	127.0	127.7	0.7
日照時間(hr)	57.6	49.4	8.2	63.2	46.0	17.2	35.9	41.8	5.9	156.7	137.2	19.5

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成5年～14年の10か年平均値を農試が算出し、使用最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた

作況

水稻 作況： 不良

事由：成熟期は平年に比較して、きらら397は12日、ほしのゆめは16日と大幅に遅延した。m²当り籾数は平年に比べきらら397は4,400粒、ほしのゆめは5,100粒少なかった。登熟歩合も低いことから、平年に比較して大幅な低収が見込まれる。

以上により、現在の作況は 不良 である。

品種名	成熟期(月.日)			一穂籾数(粒)			m ² 当籾数(百粒)			登熟歩合(%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	10.05	9.23	12	47.2	51.9	4.7	276.0	319.8	43.8	63.6	76.2	12.6
ほしのゆめ	10.04	9.18	16	36.1	47.7	11.6	231.0	281.7	50.7	68.0	82.1	14.1

品種名	精籾重(kg/a)			精玄米重(kg/a)			屑米重(kg/a)			千粒重(g)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397		664.6			517.4			32.2			23.1	
ほしのゆめ		641.0			499.0			34.0			22.1	

注1) 平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、10年(最豊)を除く5か年平均。

注2) 平成14年より従来の泥炭土圃場から奨励品種決定調査圃場であるグライ土圃場に移動した。

注3) 耕種概要

土 壤 細粒グライ土
 施 肥 高度化成472全層施肥 N?P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥2,000kg/10a
 播 種 量 :中苗紙筒 = 180cc/箱
 栽 植 密 度 :30×13.3cm 25株/m² 4本植え
 移 植 方 法 :手植え
 反 復 :2

注4) 精玄米重以下は水分15%換算値を、篩目は1.9mmを使用した。

畑作の部

畑作科 (長沼町)

気象概況

9月下旬：気温は平年に比べやや低く、降水量は多かった。日照時間はやや多かった。

10月上旬：気温は低く、降雨量は少なかった。日照時間は多かった。

10月中旬：気温はやや低く、降水量、日照時間はやや少なかった。

以上、1ヶ月を通じて、気温はやや低く推移し、降水量、日照時間は平年並であった。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	19.1	19.9	0.8	17.0	17.5	0.5	14.2	15.7	1.5	16.8	17.7	0.9
最低気温(℃)	10.0	10.3	0.3	6.2	8.3	2.1	5.9	5.7	0.2	7.4	8.1	0.7
平均気温(℃)	14.5	15.1	0.6	11.6	12.9	1.3	10.2	10.9	0.7	12.1	13.0	0.9
降水量(mm)	81.5	48.6	32.9	27.5	41.0	13.5	7.5	31.9	24.4	116.5	121.5	5.0
降水日数(日)	3.0	4.4	1.4	3.0	4.2	1.2	4.0	3.9	0.1	10.0	12.5	2.5
日照時間(hr)	59.6	48.6	11.0	63.3	43.5	19.8	38.1	47.5	9.4	161.0	139.6	21.4

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成5年～14年の確定値を10年間平均し、本年値は平成15年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作況

1. 秋まき小麦(平成15年播種) 作況：やや良

事由：播種期は9月9日で平年より4日早く、出芽期は9月14～15日で平年より7日早かった。日照時間は平年並にあったことから生育は順調に進み、10月20日現在、草丈はやや高く、茎数は多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	播種期(月.日)			出芽期(月.日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシロムギ	9.09	9.13	4	9.14	9.21	7	25.3	21.4	3.9	1223	928	295
ホクシン	9.09	9.13	4	9.15	9.22	7	24.7	20.7	4.0	1312	838	474

注)平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

2. 大豆 作況：平年並

事由：中生の「ツルムスメ」は、一莢内粒数は平年より少なかったが、着莢数は平年を約10%上回り、成熟期の遅延により登熟期間が延長したことから百粒重が平年を上回った。このため、子実重は355kg/10aと平年比109%の良であった。

晩生の「ユウヅル」は、未だ成熟期に達しておらず、徒長により倒伏が多発生している。着莢数は平年に比べ約20%少なく、現在のところ不良と思われる。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	成熟期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	10.10	9.28	12	57.5	54.9	2.6	12.0	12.4	0.4
ユウヅル	-	10.14	-	88.1	73.8	14.3	16.3	15.1	1.2

品種名	分枝数(本/株)			着莢数(莢/株)			一莢内粒数(粒)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	6.8	5.9	0.9	56.4	50.8	5.6	1.70	1.97	0.27
ユウヅル	3.3	5.0	1.7	48.2	59.2	11.0	-	1.89	-

品種名	子実重(kg/10a)				百粒重(g)		
	本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較
ツルムスメ	355	325	30	109	47.1	43.6	3.5
ユウヅル	-	371	-	-	-	43.3	-

注)平年値は前7か年中、平成10年(最豊)、14年(最凶)を除く5か年平均。

3. 小豆 作況：良

事由：成熟期は平年に比べ19日遅い9月25日であった。生育は遅れたものの着莢数は平年を上回り、登熟期間が伸びたことから百粒重が重くなった。そのため子実重は平年を大きく上回り、平年比160%の398kg/10aであった。成熟期前後に降雨が多かったことからやや雨害粒の発生が見られたが、屑粒率はやや少なく、品質は平年並と思われる。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	成熟期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨウス	9.25	9.06	19	53.2	48.9	4.3	12.1	12.0	0.1	5.0	3.5	1.5

品種名	着莢数(莢/株)			一莢内粒数(粒)			子実重(kg/10a)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比(%)
エリシヨウス	53.8	42.0	11.8	6.53	6.55	0.02	398	248	150	160

品種名	百粒重(g)			屑粒率(%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨウス	14.5	12.1	2.4	2.6	6.1	3.5

注)平年値は前8か年中、平成12年(最凶)、14年(最豊)および8年(茎疫病多発)を除く5か年平均。

4. てんさい 作況：良

事由：7月上旬以降、概ね低温で経過した。このため、地上部生育はやや緩慢ながらも良好に経過し、褐斑病や根部病害の発生もほとんど認められなかった。また、根部肥大は順調で、根周が平年をやや上回った。収穫期は10月14日で、茎葉重は7.57t/10aで平年対比156%と大きく上回り、根重は9.02t/10aで平年対比118%と上回った。根中糖分は15.96%で平年並で、糖量は1,440kg/10aで平年対比117%と平年値を大きく上回った。

以上により、本年の作況は良である。

栽培法	品種名	草丈(cm)			葉数(枚)			根周(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
移植	モノホマレ	62.3	60.7	1.6	39.2	30.9	8.3	36.8	35.2	1.6

栽培法	品種名	収穫期(月日)			茎葉重(t/10a)			根重(t/10a)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年対比(%)
移植	モノホマレ	10.14	10.12	2	7.57	4.84	2.73	9.02	7.67	1.35	118

栽培法	品種名	根中糖分(%)				糖量(kg/10a)			
		本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較	平年対比(%)
移植	モノホマレ	15.96	16.02	0.06	100	1,440	1,231	209	117

注)平年値は前7か年中、平成10年(最豊)、12年(最凶)を除く5か年平均。

5. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。